

生育 (主要品種)	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月											
	播種期		育苗期		定植期		生育期		収穫期													
4月上旬種え (夏山一本太) 4月下旬種え (夏山・夏扇系) 5月中・下旬種え (夏扇4号・関羽)	○播種 ▲定植 ●削り込み・土寄せ ■収穫																					
主な病害虫名					ネキリムシ	べと病、疫病、萎凋病 さび病、ネキリムシ		べと病、疫病、軟腐病 アザミウマ、ネギハモグリバエ		軟腐病 アザミウマ、ネギハモグリバエ		さび病、黒斑病 ヨトウムシ類										
管理管理 4月下旬定植の場合	育苗		土改剤施用	耕起 基肥施用	定植・基本防除① 除草剤①	削り込み・基本防除② 除草剤②	土寄せ・基本防除③	土寄せ・基本防除④ 除草剤③	随時防除	土寄せ・基本防除⑤	随時防除	収穫・調整	随時防除									
栽培管理のポイント	灌水は午前中に行う		育苗時の温度管理に注意	事前の圃場排水対策徹底	排水対策は万全に	灌水溝より額縁排水溝や横溝が低くなるように	除草剤は遅れずに散布	こまめに圃場を回り、ネキリムシの被害がないかどうか確認	排水溝の手直しを確保してから行う	葉鞘径8〜10mm	排水溝の手直し	予防剤を必ず施用	高温時の土寄せはしない	予防剤を必ず施用	最終土寄せは葉鞘長30cm	以上を確認後実施	農薬使用基準を順守する	収穫は軟白長30cm	以上を確保してから行う	軟腐病罹病株を取り除く	収穫・調整時は	
													さび病	黄色斑紋病斑(葉枯病)	軟腐病	シロイチモジトウ	ハモグリバエ	ネギアザミウマ				

作業のポイント	播種	定植	栽培管理、収穫調整																																																														
	フェンボット 苗利用の手順	<p>1. 播種資材準備</p> <p>本圃10aに必要な資材(畝幅1.2m)</p> <p>フェンボット : 55冊</p> <p>水稲育苗箱 : 55箱</p> <p>敷き紙 : 55枚</p> <p>コート種子 : 約36,300粒(2.5粒播き)</p> <p>育苗用床土 : 12袋</p> <p>2. 育苗床準備</p> <p>1〜3月の育苗はハウス+トンネルが必要になります。特に2〜3月上旬の育苗にはハウス内の温度を15〜20℃に保つ必要があります。</p> <p>3. 播種までの流れ</p> <pre> graph TD A[フェンボットの展開] --> B[培土詰め] B --> C[敷き紙を育苗箱にかぶせる] C --> D[育苗箱を反転] D --> E[播種、覆土、灌水] E --> F[20℃の育苗箱で5日間芽出し] </pre> <p>4. 芽出し搬出</p> <p>十分灌水した育苗箱を重ねて育苗器で20℃5日間芽出しします。また、5日以内でも芽出してきたらすぐに育苗器から搬出します。</p> <p>5. 育苗初期の管理(発芽〜1.5葉期)</p> <p>発芽ムラを防ぐため日中15〜20℃、夜間5℃以上になるようにします。特にハウスの周りは冷えるので生育の良い箇所と入れ替えます。</p> <p>6. 育苗中〜後期(1.5葉〜定植)</p> <p>日中の室温が25℃以上になるようであればハウスの裾を上げて換気します。平年の3月並みの気温ならば夜間もハウスの裾をあげて育苗します。灌水は床土の表面が乾燥していれば午前中にします。</p> <p>1) 育苗日数の目安</p> <p>1〜2月播種 : 55〜70日間</p> <p>3〜4月播種 : 30〜45日間</p> <p>2) 目標の草姿</p> <p>草丈 : 15〜20cm</p> <p>葉数 : 2〜3枚程度</p> <p>葉鞘径 : 2〜3mm</p>	<p>定植までの手順</p> <p>1: 圃場の選定</p> <p>額縁排水溝を設置し、排水対策を前年秋より排水対策を徹底する。肥沃で排水が良く土が深い圃場を選び連作は避ける。</p> <p>2: 施肥設計</p> <p>「なつちゃんA」は8〜9月出荷用(4月定植)「あきちゃんA」は10月以降出荷用(5月以降定植)</p> <p>(元肥一発肥料の溝施用) (10a=740m設定)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>肥料名</th> <th>定植10日前</th> <th>定植時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケイフン</td> <td>300kg/10a</td> <td></td> </tr> <tr> <td>苦土石灰</td> <td>200kg/10a</td> <td></td> </tr> <tr> <td>なつちゃんA(あきちゃんA)</td> <td></td> <td>8kg/畦100m</td> </tr> <tr> <td>アラカーデンファーム</td> <td></td> <td>400g/畦100m</td> </tr> </tbody> </table> <p>(元肥一発肥料の全面施用)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>肥料名</th> <th>定植10日前</th> <th>定植時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケイフン</td> <td>300kg/10a</td> <td></td> </tr> <tr> <td>苦土石灰</td> <td>200kg/10a</td> <td></td> </tr> <tr> <td>なつちゃんA(あきちゃんA)</td> <td></td> <td>75kg/10a</td> </tr> <tr> <td>アラカーデンファーム</td> <td></td> <td>400g/畦100m</td> </tr> </tbody> </table> <p>(追肥型)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>肥料名</th> <th>定植10日前</th> <th>定植時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケイフン</td> <td>300kg/10a</td> <td></td> </tr> <tr> <td>苦土石灰</td> <td>200kg/10a</td> <td></td> </tr> <tr> <td>硝加燐安333</td> <td>20kg/10a</td> <td>1.5kg/畦100m</td> </tr> <tr> <td>ジシアン555</td> <td>20kg/10a</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アラカーデンファーム</td> <td></td> <td>400g/畦100m</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「なつちゃんA」、「あきちゃんA」を施用した場合は、追肥は、原則しない。上記以外の元肥の場合は土寄せと同時に追肥を行う。生育初期〜中期は窒素成分で3kg/10a、生育後期は5kg/10a以内とする。</p> <p>3: 定植時防除</p> <p>ダイアジノン粒剤 5 600g/畦100m + アドマイヤー1粒剤 450g/畦100m (4〜6月定植は必須) (5〜6月定植は必須)</p>	肥料名	定植10日前	定植時	ケイフン	300kg/10a		苦土石灰	200kg/10a		なつちゃんA(あきちゃんA)		8kg/畦100m	アラカーデンファーム		400g/畦100m	肥料名	定植10日前	定植時	ケイフン	300kg/10a		苦土石灰	200kg/10a		なつちゃんA(あきちゃんA)		75kg/10a	アラカーデンファーム		400g/畦100m	肥料名	定植10日前	定植時	ケイフン	300kg/10a		苦土石灰	200kg/10a		硝加燐安333	20kg/10a	1.5kg/畦100m	ジシアン555	20kg/10a		アラカーデンファーム		400g/畦100m	<p>1. 土寄せ</p> <p>土寄せ(6月〜8月) : 植え溝より排水溝が低くなる事が望ましい。</p> <p>土寄せ(9月〜) : 上から数えて4〜5枚目の葉の付け根に土がかかってはけません。</p> <p>最終土寄せ : 上から3枚目の葉の付け根が隠れるくらい土寄せし、軟白切れを良くするよう手直しする。台風等による暴風対策含む。</p> <p>...削り込み、土寄せ時のポイント...</p> <p>1) 削り込み(定植後35〜45日) 目標...根量を増やし、梅雨時期に向けて排水溝の整備を行う</p> <p>フェンボットの場合は葉鞘径8〜10mm、草丈40cm、本葉4〜5枚確保してから削り込みます。あまり細いうちから削り込みをすることで曲りの原因になります。また、過度な土寄せは細いねぎになるので分岐点以下に土がかかる程度(土寄せ量: 5cm程度)とします。なお、額縁排水溝や、溝の手直し・確認を行い、排水できるようにしておく。</p> <p>2) 土寄せ(20日程度間隔で実施) 目標...排水溝を整備しつつ土寄せをねぎの生育スピードに合わせながら行う</p> <p>6〜7月にかけての土寄せ...梅雨に向けて排水対策を意識しながら分岐点に土がかからないように行う。</p> <p>8〜9月にかけての土寄せ...暑い盛りで無理な土寄せは病気の元です。よって、涼しい早朝に少しずつ行う。また、台風接近時は倒伏を軽減するため株元を土で押さえる。</p> <p>3) 最終土寄せ 目標...軟白長30cm(8・9月出荷は27cm)以上確保し、軟白ボケがないように確保かつ丁寧に土寄せをする</p> <p>葉鞘長30cm(27cm)以上を確認してから、最終土寄せを行う。軟白切れを良くするために葉の分岐点(3枚目の葉の下)までしっかり土を入れる。10日以内に必ず手直しを行い、根元から33cm以上の土寄せ量を確保する。</p> <p>4) 仕上げ日数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>出荷時期(軟白長)</th> <th>最終土寄せ時期</th> <th>適期収穫期間</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8〜9月 (27cm)</td> <td>収穫予定日から15〜20日前</td> <td>約10日間</td> <td rowspan="3">・収穫期間が左記より長いとえり首の緩いねぎや棒ねぎになり、品質が低下するので、注意する。(最終土寄せを必ずする)</td> </tr> <tr> <td>10月 (30cm)</td> <td>収穫予定日約1カ月前</td> <td>約15日間</td> </tr> <tr> <td>11月〜 (30cm)</td> <td>収穫予定日約1カ月前</td> <td>約20日間</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 収穫調整</p> <p>完全に軟白された部分が30cm(9月末迄は27cm)以上ある事を確認し収穫を始める。商品化率を上げるため圃場(10月以降の場合)が作業場でよく乾かしてから皮むきを行う。雨などで濡れている時は特に乾かす。根切りは盤茎を残すように根を切り、葉切りは全長58cmとしコンテナ詰めする直前に行う。</p> <p>3. コンテナ出荷時の注意点</p> <p>コンテナ詰め時にも、軟腐病罹病株が混入していないか再度確認し、等級別に詰める。調整が終わって、運搬するまで時間がある時は、涼しい場所に置いて、品温を上げない!</p>	出荷時期(軟白長)	最終土寄せ時期	適期収穫期間	備考	8〜9月 (27cm)	収穫予定日から15〜20日前	約10日間	・収穫期間が左記より長いとえり首の緩いねぎや棒ねぎになり、品質が低下するので、注意する。(最終土寄せを必ずする)	10月 (30cm)	収穫予定日約1カ月前	約15日間	11月〜 (30cm)	収穫予定日約1カ月前
肥料名	定植10日前	定植時																																																															
ケイフン	300kg/10a																																																																
苦土石灰	200kg/10a																																																																
なつちゃんA(あきちゃんA)		8kg/畦100m																																																															
アラカーデンファーム		400g/畦100m																																																															
肥料名	定植10日前	定植時																																																															
ケイフン	300kg/10a																																																																
苦土石灰	200kg/10a																																																																
なつちゃんA(あきちゃんA)		75kg/10a																																																															
アラカーデンファーム		400g/畦100m																																																															
肥料名	定植10日前	定植時																																																															
ケイフン	300kg/10a																																																																
苦土石灰	200kg/10a																																																																
硝加燐安333	20kg/10a	1.5kg/畦100m																																																															
ジシアン555	20kg/10a																																																																
アラカーデンファーム		400g/畦100m																																																															
出荷時期(軟白長)	最終土寄せ時期	適期収穫期間	備考																																																														
8〜9月 (27cm)	収穫予定日から15〜20日前	約10日間	・収穫期間が左記より長いとえり首の緩いねぎや棒ねぎになり、品質が低下するので、注意する。(最終土寄せを必ずする)																																																														
10月 (30cm)	収穫予定日約1カ月前	約15日間																																																															
11月〜 (30cm)	収穫予定日約1カ月前	約20日間																																																															

＜除草＞						＜基本防除＞						＜随時防除＞					
農薬名	薬使用量	希釈水量	収穫前日数等	使用回数	上記表及び備考	農薬名	希釈倍率・使用量	収穫前日数等	使用回数	基本防除	上記表及び対象病害虫	農薬名	希釈倍率・使用量	収穫前日数等	使用回数	上記表及び対象病害虫	
コーゴサン細粒剤F	4〜6kg	-	定植後雑草発生前 定植10日後迄	1回 (粒剤乳剤合計)	除草剤① (全面土壌散布)	トリフミン水和剤	200倍液を 1g/1枚	定植前 完成前に灌水	1回	基本防除①	萎凋病	ブレバソフプロフル5	2000倍	収穫3日前迄	3回以内	シロイチモジトウ・ハモグリバエ類 ネギコカ	
コーゴサン乳剤30	200〜300ml	70〜100L	定植後雑草発生前 定植10日後迄	2回以内 (粒剤乳剤合計)	除草剤②③ (土壌表面散布)	ダイアジノン粒剤5	6kg	全面・作業土壌混和 定植時 植溝土壌混和	2回以内 (乳剤含む)	基本防除①	コガネムシ類幼虫	スピノース顆粒水和剤	5000倍	収穫3日前迄	3回以内	シロイチモジトウ・ネギアザミウマ類	
トレファノサイド粒剤2.5	4〜5kg	-	定植後雑草発生前 収穫30日前迄	2回以内 (粒剤乳剤合計)	除草剤②③ (土壌表面散布)	アドマイヤー1粒剤	4kg	定植時 植溝土壌混和	1回	基本防除① (5・6月定植必須)	アザミウマ類	ランネット45DF	1000倍	収穫7日前迄	4回以内	シロイチモジトウ・ネギアザミウマ	
トレファノサイド乳剤	200〜300ml	100L	定植後雑草発生前 収穫30日前迄	2回以内 (粒剤乳剤合計)	除草剤②③ (土壌表面散布)	ダコニール1000	1000倍	収穫14日前迄	3回以内	基本防除②	さび・べと・黒斑・葉枯 小菌核腐敗病	アクタラ顆粒水溶剤	1000倍	収穫3日前迄	3回以内	ネギアザミウマ・ネギハモグリバエ	
ナフ乳剤	150〜200ml	100L	イネ科雑草3〜5葉期 収穫30日前迄	1回	随時 (雑草茎葉散布)	スタークル粒剤	6kg	収穫3日前迄	2回	基本防除②	アザミウマ類 ハモグリバエ類	アリエッティ水和剤	800倍	収穫3日前迄	3回以内	べと・疫病	
セレクト乳剤	50〜75ml	100L	イネ科雑草3〜5葉期 収穫30日前迄	1回	随時 (雑草茎葉散布)	テーク水和剤	600倍	収穫14日前迄	3回以内	基本防除③	ネギハモグリバエ ネギアザミウマ	ロフアル水和剤	1000倍	収穫14日前迄	3回以内	黒斑・小菌核腐敗病	
ブリクボックスL	600〜1000ml	100〜150L	雑草生育期 収穫3日前迄	3回以内	随時(畦間処理) ねぎにかけない	ダントツ粒剤	6kg	収穫3日前迄	4回以内	基本防除③④	軟腐病	アミスター20フロアブル	2000倍	収穫3日前迄	4回以内	さび・べと・黒斑・黄斑・葉枯病	
ボックス	75〜150g	100L	定植30日後土寄せ後 収穫30日前迄	1回以内	随時 (雑草茎葉散布)	オリゼート粒剤	6kg	収穫30日前迄 土寄せ時株元散布	2回以内	基本防除③④	軟腐病	サフロール乳剤	1000倍	収穫前日迄	5回以内	さび病	
						ネキリエースK	3kg	収穫30日前迄 土壌表面株元処理	2回以内	基本防除⑤	ネキリムシ類	ズボルト	500倍	-	-	軟腐・べと・黒腐・斑点細菌 黒斑細菌・褐斑細菌病	
						ハチハチ乳剤	1000倍	収穫7日前迄	2回以内			カスシホルド	1000倍	収穫14日前迄	2回以内	軟腐病	
						ホリオキシンAL水和剤	1000倍	収穫14日前迄	3回以内			ハリダシ液剤5	500倍	収穫21日前迄	1回	軟腐・白絹病	

※液剤防除は各倍率で生育に合わせて100〜300L/10a散布する

※使用の際は、ラベル等で確認し農薬使用基準を遵守すること